

保健体育科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【知識・技能】

備えた知識をもとに、技能を向上させるポイントを見付けることができる力を身に付けさせたい。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動を学び、行えるようになってきている。さらなる向上が必要。意欲的に授業に取り組めるようになってきている。 ・知識の定着が弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動の合理性を理解させ、継続して指導にあたる。 ・男女共習の利点を生かし、相互の良い点を認めさせながら意欲を引き出させる。 ・授業での確認・復習を強化していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動に関して向上傾向がみられる。 ・知識・技能の観点において二極化がみられる。 ・運動への意欲を向上させることが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の課題を改善できるよう助言することを重点的に取り組む。 ・男女共習の利点を生かし、相互の良い点を認めさせながら意欲を引き出させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・集団で運動を意欲的に行えるようになってきている。知識の定着が課題。 ・学習カードへの記入状況から、思考・判断・表現の観点の高まりを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識の定着を狙いとして、繰り返し基本の学習するように指導していく。 ・意欲を引き出す課題を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通年 	

■主体的・対話的で深い学びに関連して

- 1年 授業規律をつくることを重点的に行う。
- 2年 主体性を引き出すよう生徒個人とのやり取りを重点的に行う。
- 3年 他者とのやり取りから対話的で深みを持った授業とする。

■一人一台コンピューターの活用に関連して

- 1年
 - 2年
 - 3年
- 3学年とも単元に応じてPCを利用した動画撮影、見本の共有を行っていく。